第１４６回街なか研究会

「岡谷の酒「神渡」と下諏訪の路地ツアー」

レポート

20230508 街なか研究会・全国路地のまち連絡協議会

も　く　じ

1.　今井　晴彦　・・・

岡谷、下諏訪街歩き感想

1．今井　晴彦

　岡谷市、下諏訪町、諏訪市と諏訪湖岸の３都市を渡る街歩きで、うまく鉄道利用ができるか色々検討しましたが、予定どおり移動でき、珍しい街歩きが実現できました。天候が危惧されていて、案の定途中から雪が降り出し、寒かったことは寒かったが、これが普段にない風情を生み出したことが想定外で、参加された方々の反応も悪くはなかったのでなりよりでした。

岡谷についてはあまり詳しくはないのですが、神渡の林さんのおかげで乗り切れ、また神渡の資料館まで案内いただけたのはありがたかったです。

　下諏訪の町はほんとうに路地だらけ、しかも中山道と甲州街道の宿場町、諏訪大社の参道のまち、温泉町という３つの要素が入交り、その魅力がコンパクトにまとまっているので、街歩きには大変向いたところです。再訪していただければ幸いです。

　今回は特に、三橋さんのおかげで、岩波家第 18 代当主のご案内で、本陣に入ることができ、なかでも雪が舞う日本庭園は幻想的な雰囲気で、めったに体験できないことでした。

　東京のような大都会での街歩きとは少し異なる、地方都市の街歩きもいいものだと改めて思った次第です。また何かこういう企画がでてくることを期待しています。

岡谷下諏訪を歩く

２．伊藤　雅彦

岡谷へは新宿からバス１本の幹線経路なのにでかけた記憶が明確にありません。精工舎から大学に戻った友人を鼓舞に来たような記憶ありますが諏訪観光していないのか。師走にも関わらず街歩きに多くの方が参加したのも少し驚きましたが、短時間に岡谷・諏訪の地政学的な位置づけも知ることができ刺激的な街歩きでした。

人形町でお世話になった林美貴さん、そして事務局のみなさんありがとうございました。

下諏訪につくと雪がちらつく天候でしたが、むしろ下社秋宮では荘厳な演出になり実に風情ありました。参加した多くの方が「また別途来てみたい」と発言あった下諏訪地区を中心に地域の魅力づくりや地方都市でも路地のもつ底力を感じました。まちづくりに携わってきた専門家の方々のするどい嗅覚はさすがです。

縄文時代からの歴史や奇祭御柱祭りなどまだまだ咀嚼できないことが多くぜひ再訪したい場所のひとつになりました。そしてもうひとつ、街道沿いは面白い！と素直に実感できました。いかなくてはならないところばかり増えてしまいますね。

「岡谷の酒『神渡』と下諏訪の路地ツアー　レポート

３．三橋重昭

岡谷駅 12 時集合で、13 時 42 分岡谷発から下諏訪へ。岡谷は短い時間であったが林美貴さんの名ガイド で内容は極めて充実。

十五社神社、照光寺、豊島屋資料館、豊島屋工場内見学と展示販売場、絹のふるさと岡谷絹工房、そして童画館通り商店街を抜けて岡谷駅へ。

狭い範囲の中で明治から昭和初期、日本の産業近代化を牽引した岡谷のエネルギーをシルク、石油販売、醸造、生活文化、信仰等で感じることができた。

私の専門分野では岡谷の流通近代化の象徴は、ＪＲ岡谷駅前の再開発事業で 1984 年に核店舗として誘致したイトーヨーカドーが 2001 年に撤退、その後は部分活用をしてきたが、近く解体されるという。もう一つ東側の再開発ビルには、1997 年おかや東急百貨店が出店したが 2002 年に撤退。2003 年に市主導でイルフプラザとして再出発。（公共施設が多く入居）この両大型店をつなぐ童画館通り商店街を足早に通り岡谷駅に着いた。

岡谷のまち歩きで、1970 年代から始まった駅前再開発とセットになった流通近代化事業はどう評価されているのかも気になった。

下諏訪も内容は濃い。駅前から北に延びる御田町通りを中心に移住した若い人たちの新規出店の多さで話題になったことがある。駅前の路地、古い旅館を活用したゲストハウスマスヤの前を通り、諏訪大社下社秋宮方面のなだらかな坂には魅力ある路地空間が広がる。今井世話人からいただいた資料の中で、まちなみ環境整備事業のもとでまちづくりのルール＋まちづくり協議会活動、下諏訪歴史風致維持向上計画、その成果としての「歴史のこみち」を歩くのは楽しい。本陣岩波家、私は 28 代当主岩波太佐衛門尚宏さんとは多少交流があったものだから普通は前からの予約が必要だが、当日連絡して無理を聞いてもらった。中山道随一の名園と言われた薄く新雪を冠った日本庭園は素晴らしかった。

下諏訪滞在も２時間と少しで上諏訪に列車移動。懇親会は駅前のいずみ屋。
私は昭和 40 年代、上諏訪駅前地区の再開発計画に関連して商業経営等実態調査を行ったことがある。昔の調査報告書をみると再開発地区内にあったいづみ屋の経営調査もしていた。

上諏訪駅前は当時の市街地再開発事業の商業施設等が再び再開発されていて一新されており時の流れを感じた。懇親会後は松本まで行き松本泊。

翌日松本城天守閣にあっがたり、商店街や街なかイオンモールを散策、ついでに前日、長野から参加された石川利江さんの情報で、松本市民芸術館総監督串田和美さんが主宰する地域づくりと劇場をテーマとするシンポジウムに飛び入り的に参加し帰宅した。

下諏訪の路地ツアー　「せわしなかった」の一言に尽きます。

４．吉永哲司

空き地・空き家が多い中、昔栄えた面影が多数残っている「まち」であった。それらを大急ぎで見て回ったが、「日帰り」は如何せん「キツカッタ」。（できれば一泊して）温泉にも入り、飲み屋を2～3軒ハシゴしたら良いのではないかと思った。

また、山地に出来上がった「まち」なので、ほとんどの路地は狭く、起伏がきつく、かつ、入り込んでおり、恥ずかしながら、どこをどう歩いたのか分らず仕舞であった。「まち散策ガイド」のような案内書があると観光客に親切でもあり（もう一度行きたいと思っているので）、客数も増えそうな気がする。

最後の探訪場所・本陣岩波家に着く頃には雪が降り始め、薄っすらと雪が載った庭園の低木に、さらに雪が積もってゆく幻想的な光景に恵まれるという貴重な時間を過ごした。とくに座敷の2 面のガラス戸を仕舞い、雪降る自然に溶け込むような感じにもさせられた。

岡谷の酒「神渡」と下諏訪の路地ツアー

5．荒木克成

令和４年４月９日、青春 18 きっぷを利用して、野辺山、小淵沢を行きつつ戻りつつ、温泉を求めて下諏訪に辿り着いた。前年の 12 月に、同様の交通手段にて上諏訪片倉館でひと風呂浴びた心地よさが後を引いていたからである。だが下諏訪駅員の紹介で立寄った菅野温泉に浸かり、試飲があるという御湖鶴以外には御柱祭当日にあっても。日帰り旅の限界で帰宅を急いだのだった。「下諏訪には絶品の路地がある」などとは、つゆ知らずであった。

下諏訪の絶品の路地をこの目で確かめるべく、今回も、青春 18 きっぷの各駅停車をもって、小学生の修学旅行のごとく早朝からの旅支度に勤しんだ。

好評だった人形町案内人、林美貴さんがご実家「豊島屋」のある岡谷案内人となった。神社仏閣の厳かさ、整然且つ上品で、古きものの良さを示す岡谷の町並みは、どんよりとした冬空に抗してとても清々しく映った。当然、神渡新酒を購入し、自らの土産とした。

下諏訪では、絶品の路地伝いがつづく、地元の若者がリノベーション したという小川沿いに建つ赤レンガ造りのゲストハウスは、千葉小江戸佐原に月２ペースで足しげく通う際に出会った女性から、若者にとっては下諏訪のメッカだと知らされたし、御湖鶴に寄った後に、再び、新たな小川沿いを歩く際に見かけた飛やじは一度、のれんを潜りたい衝動を覚えた。

何度か路地と路地をうねりながらも、甲州道中・中山道合流の地へ当たる道すがら、江戸の旅人の生態等を取りまとめた宿場街道資料館は、SDGs の流れに乗って評価されるサーキュラーエコノミー（循環型経済）を実現していた江戸庶民の暮らし向きが関心を高める昨今、HP も無いとのことなので再訪を心ひそかに決めた。

新鶴本店で買求めた塩羊羹と牛蒡煎餅は土産物品に評価の厳しい妻からも合格点を頂戴した。雪降り始めた諏訪大社秋宮あたりから黄昏時も重なり、神秘さが増していく。極め付きは下諏訪宿本陣岩波家での雪降り注ぐ庭園の景観には圧倒されたことだ。ここに来て、この景観に出会えたことで下諏訪に見参した意味があったとさえ自己総括してしまったのだ。それほどの凄さだったと思う。「いい路地がある町は、いい町だ」に留まらず、いい町を構成する諸々もまた、いい路地を生み出すのだと観念した。

『「下諏訪には絶品の路地がある！」と、今井氏。今回は、人形町を案内してくれた林美貴さんのご実家「豊島屋」（神渡の醸造蔵: 外観のみ）と岡谷のまち、そして、下諏訪の路地を愛でて、上諏訪に沈みます。』との告知通りの１日となった。案内人各氏へ感謝です。（了）

岡谷、下諏訪の路地歩きの感想文

6．森田　則子

2022 年 12 月 17 日(土)岡谷と下諏訪の路地歩きに入会後初参加させて頂き、バスタ新宿発の高速路線バスで茅野 IC を経由し上諏訪や下諏訪の市街地を車窓より眺めながら定刻やや過ぎて JR 岡谷駅に到着しました。

午後の半日の間に先ず林さんの案内で、長い紐に五色の短冊を結び付けた御柱祭の飾付けが残る岡谷の街の神社や酒販業、製糸業等の歴史的な施設を見学し、その後今井さんの案内で下諏訪の魅力ある路地や外湯、飲食店、観光施設等まちの統一感があり整った景観の諏訪大社下社秋宮周辺を歩き、最後に本陣・岩波家の座敷から拝見した築山式庭園の雪景色は圧巻でした。

そんな密度の高い行程の中で路地のまちのテーマとは若干離れますが豊島屋さんから伺った燃料特約店の話を短く書きます。

◆豊島屋歴史資料館◆

日本酒「神渡」で知られる豊島屋の資料館は岡谷郵便局の裏手にあり実際に使われていた帳場がある建物の玄関まで、古い石臼を用いた円形の飛び石が敷地内の長い通路に点々と敷かれ手回し式の燃料ポンプが屋外展示してあります。

館内の陳列棚に昭和卅(30)年日本石油(現ENEOS)から贈られた横浜製油所拡張工事完成記念という飾り皿を見つけ偶々興味が湧いてお話を伺うと、燃料販売店としては日本石油が明治時代に創立した当初からの取引があり、当時の特約店で現存するのは全国に十数社しかなく豊島屋はそのひとつであるそうです。この話が印象に残って次に訪問した清酒部で神渡フラグシップブランド「冥利」の製品が来るのを待つ間に若い社員さんに雑談で日本石油と豊島屋の歴史話を振ると「私もついこの間に横浜の精油所に行ってきました」と仰るのです。意外に思ってどういう用事でいったのか尋ねたところ、広大な精油所の敷地の中にはENEOSの学習施設もあり、そこに設置してある「神渡」の自動販売機の具合を検査しに行ったそうです。昔からの縁でもなければ中々無いことでしょうとも話されていて、人と人とが繋いで来た明治より続く両社の長い取引の空気感が伝わってきました。

翌日は堀田さん、高尾さんと上諏訪で高島城や片倉館、下諏訪で未だ見ていなかった下社春宮と今井さんのお祖母様の今井邦子文学館を見学し、更に足を延ばして上社前宮と上社本宮を詣で路地のまち一同の健康を祈願し帰路につきました。事務局はじめお世話になりました皆様に心より御礼申し上げます。

岡谷市から下諏訪町、そして諏訪市。翌日は４社巡り

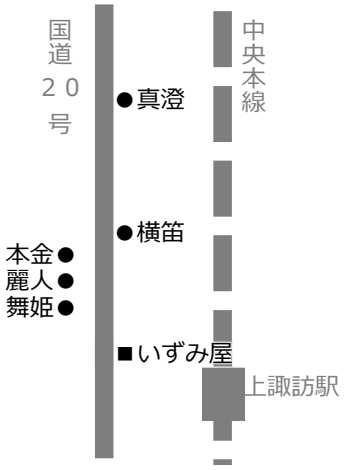
７．髙尾　利文

岡谷市は、林さんが良かった。また、豊島屋資料館も良かった。

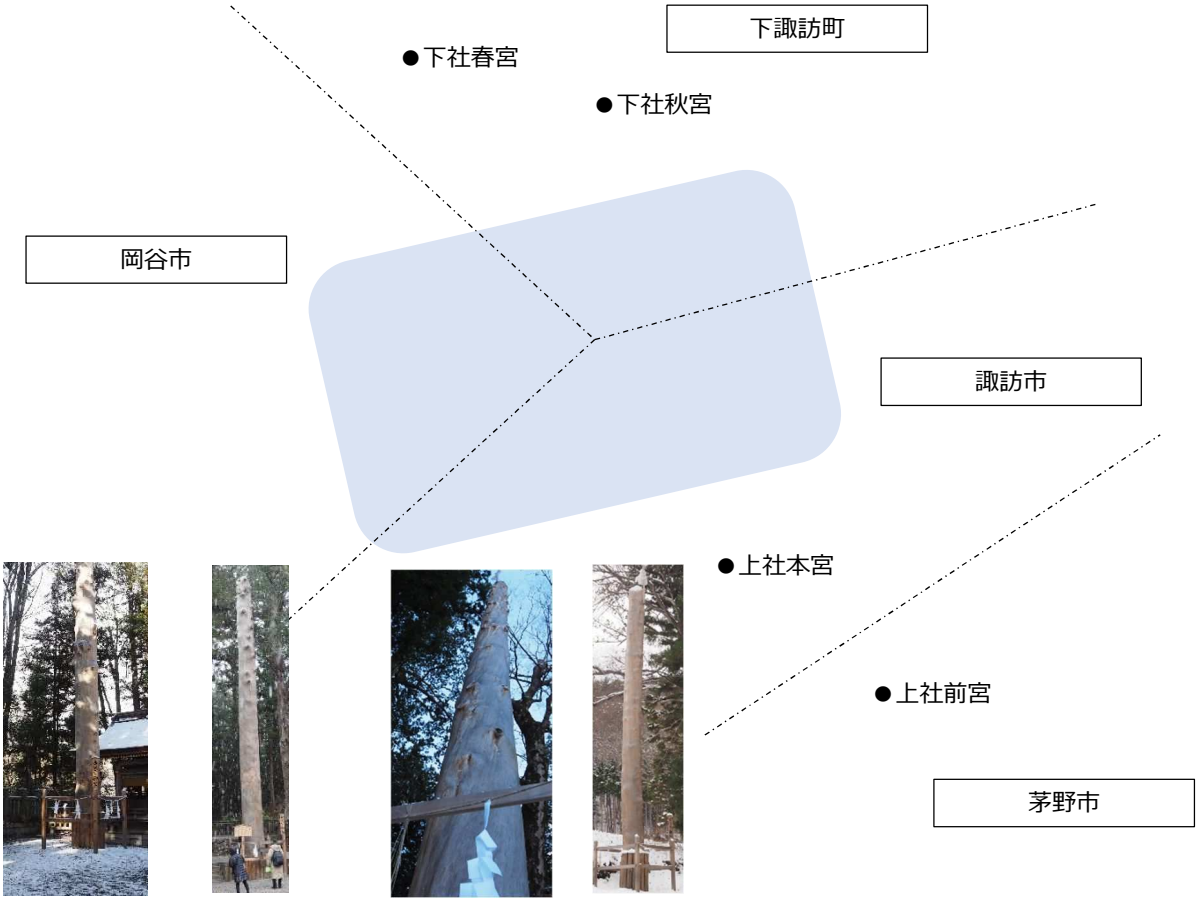
下諏訪町は、平成 18 年 10 月に開催された路地サミットの後、平成 19 年９月に下諏訪の中心市街地の視察、平成 22 年５月の御柱祭に続いて、４回目であるが、何回来てもいい。

なお話題の「飛やじ」は、都市再生モデルを活用して空き店舗対策を行い、10 軒程度の誘致に成功し空き店舗をなくしたが、その１軒である。店の玄関は、御田町通り側が裏で、路地側が表である。

諏訪市は、まちの仕事をしたくて何回も足を運んだが、無理だった。
当日の飲み屋の会場となった「いずみ屋」の店頭に、諏訪五蔵の酒瓶が置いてあったので記念に写真を撮ってみた。



その日はいつものホテル成田屋に泊まり、翌日は、諏訪湖を一周しつつ諏訪大社にお参りした。なお、『諏訪の旧暦 10 月は、諏訪の神様は出雲に行く必要がないため、神在月という』と地元の方がおっしゃ っていたのが興味深かった。



春宮二之御柱　秋宮一之御柱　本宮一之御柱　前宮三之御柱

岡谷の酒「神渡」と下諏訪の路地

8．木村　晃郁

■ 岡谷タウン

岡谷を訪れるのは何年ぶりだろう。かつて、現URの仕事で再開発事業の失敗作の事例を調査するというなんとも貴重な業務をさせていただいた。その業務中で、事例の一つとして岡谷の駅前の再開発ビルを調査に来たのだ。再開発ビルは 1984 年に岡谷駅前第一種市街地再開発事業として市施行で整備された。当時揶揄されたいわゆる駅前再開発である。市施行で整備された再開発ビルは、核テナントとの契約が甘かったり、建物全体の運営計画がずさんなものが見られ、破綻するものが多く、岡谷駅前もその一つとなっていた。私が視察したときも、既に核テナントが撤退した後で、１階の大きな部分が空き店舗となっていた。このビルの解体が２０１９年に決まり、再々開発も否定され、跡地利用も決まっていないようだ。

岡谷駅前再開発ビル

その業務で滞在時間が少なかったのか覚えているのは、業務の対象である駅前の再開発ビルと駅前商店街である童画館通り、そしてイルフプラザショッピンモールである。

童画館通り

童画館通りはイルフプラザに併設されているイルフ童画館に由来している。イルフ童画館は、岡谷市出身の画家武井武雄氏の作品を展示する美術館であり、武井氏は「童画」という言葉を作った人であるとのこと。商店街はタイル舗装され、歩車道の段差も最小限、装飾街路灯が整備されている。沿道の建物も同系色で統一され、楕円形の統一看板も設置されている。

童画館通りの統一看板と装飾街路灯

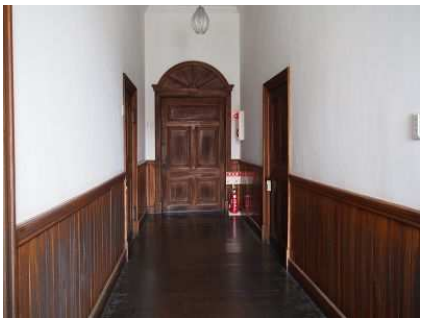
装飾街路灯には童画を彷彿させる切り絵が取り付けられており、その切り絵は店舗の統一看板にも設置されている。なかなかおしゃれな商店街であるが、土曜日の午後というのにほとんど歩いている人がいない。

旧山一林組製糸事務所

岡谷市が製糸業で栄えた街であることを今回の路地散歩で初めて知ったのである。世界遺産を富岡に持って行かれてしまったが、一時期は世界一の生産量を誇る製糸工場があったそうである。

岡谷にはそうした産業遺産の建物等が残っていて、旧丸十繭倉庫はレコードショップにリノベーションされたり、旧山一林組製糸事務所は、絹工房として絹織物研修・制作に利用されている。旧山一林組製糸事務所の１・２階の広いスペースには機織り機が所狭しと並べられていて、その光景は壮観である。

旧丸十繭倉庫
レコードショップにリノベーション



旧山一林組製糸事務所の内部、無数の織機が並ぶ様子は壮観

旧岡谷市役所の建物も保存されていて、産業遺産や歴史的建造物など観光資源はそこそこ点在しており、名物のウナギ取り扱い店マップもある。あとは、来訪者を楽しませる工夫が必要か。

今回、岡谷をご案内いただいたのは、岡谷の「神渡」の酒蔵豊島屋がご実家の林美貴さん。社長さんの取り計らいにより豊島屋資料館を拝観させていただいた。先代の趣味で収集したものが所狭しと並べられていた。豊島屋さんの事務所に入って、そろぞれ「神渡」が買っている。

ガイドする林美貴氏。スケッチブックはいつものスタイル。

十五社神社

豊島屋資料館とその内部

■ 下諏訪タウン

下諏訪を訪れるのも二度目である。前回は全国路地サミット２００６in 諏訪の時である。前回は、初回で観光を中心に回った記憶がある。今回は、今井世話人の案内で、路地を重点的に歩かせていただいた。今井さんのおばあさまは、アララギ派の歌人の今井邦子氏であり、この下諏訪出身で旧宅が今井邦子記念館として残されている。今井さんも幼少の時にその旧宅の階段で遊んだという。

しかし、今回の岡谷・下諏訪ツアーは本当に冷える。２０２２年で最も冷えた日である。最高気温が３度予想で雪もちらつくといっている。背中を丸めながら今井さんの後をついて行く。

まずはゲストハウスにリノベーションされた元旅館の赤煉瓦塀の路地である。その赤煉瓦塀は素晴らしいがそれ以外は空き地と万年塀と波形塀で、おしい！

ゲストハウスにリノベーションされた旅館の赤煉瓦塀

次に向かったのは、菅野温泉（共同湯）を経由して御湖鶴酒造である。岡谷では豊島屋さんで「神渡」を買い、下諏訪でも「御湖鶴」を仕込もうという算段である。皆さん、冷えた体を温めるべく試飲に励んでらっしゃる。私もと思ったが、試飲スペースが狭く順番は回ってきそうにない。

御湖鶴酒造

御湖鶴酒造向かいの手湯

手湯脇の飛び石路地

御湖鶴酒造の向かい側、蕎麦屋の脇の「四ツ角駐車場の手湯（旦過源泉）」の奥に飛び石風の石畳をたどっていくと、舗装はされているが、道路（通路？）と民地の境界がわからない路地になる。

その中ほどに、「飛やじ」と書かれた小さな袖看板が蔵造りの建物にかかっている。入り口は半地下になって階段を降りていく。なかなか、隠れ家的な感じで入ってみたいという衝動に駆られるが、昼の１５時頃なので当然店は開いていない。ネットで検索すると、おばんざいを出す居酒屋のようである。次に機会があったら是非突撃しようと思う。

飛やじの路地

飛やじ

急勾配の路地

石畳の路地

ちょっと気になる古道具屋

衣紋坂に出てちょっと魅力的な古道具・アンティークの店を横目に、案内人の今井さんは巨大な迷路を右に左にと寡黙に歩いていく。左に急勾配の幅半間程度の路地をやり過ごし、石畳の路地に出る。

そこでツアー参加者から、「木村さん大変だあ！ゴールデン街が火事だ！」とスマートフォンの情報を伝えてくれる。「えっ！どこどこ？」「う～ん、あれっ！これ！青春じゃん」、火事情報をくれた参加者の行きつけの店である。私も、この参加者に誘われて一度訪れたことがある。レコードが山積みになっている店だ。「え～～～、レコードがだめになっちゃうじゃん」店の心配よりレコードの心配をしてしまった。

しかし、この路地、なぜ石畳なのか謎である。沿道は低いブロック塀がネットフェンスで、目立った施設もなく、駐車場が目立つ。その中に、朽ちかけている木造の門が孤立している。

そんなことを考えて歩いている内に、「中山道下諏訪宿　立町」と提灯が下げられたゲートに着く。ここからが宿場町の風情が色濃く残っているゾーンである。その傍らにちょっとした広場と蔵風の建物と黒板の建物が建っている。何かなと覗いたら、子供たちが建物中で何やら会話中である。黒い建物に「八幡坂高札ひろば　お休み処」と大書きされている。中山道下諏訪宿散策の休憩スペースであろう。そうこうしているうちに、ついに！と言うか、やっぱりと言うか、雪がちらつき始めた。冷え込みはいよいよ強くなってきた。

「中山道下諏訪宿　立町」ゲート

八幡坂高札ひろば　お休み処

この立町には、手水風の温泉があちらこちらにもうけられている。立て札には「立町通り　源泉掛け流し　諏訪明神ご神湯　立町まちづくり協議会」と書かれている。しもすわ今昔館「おいでや」には、足湯が設置されている。いずれも無料である。その向かいには、明治の大火後に作られた商家が「宿場街道資料館」となって江戸時代の下諏訪宿の様子や皇女和宮降嫁、和田嶺合戦、赤報隊に関する資料が展示されている。そうそう、忘れてならないのはこの先 T 字路は五街道の中山道と甲州街道の交点で、甲州街道の終点である。また、中山道で温泉の出る宿場は下諏訪だけだそうである。

中央奥の時計塔のある建物が「おいでや」

突き当たりに洋館風の建物

諏訪明神ご神湯

宿場街道資料館

雪も段々本気になってきたようだ。町家の格子に雪が風情を加えている。諏訪大社秋宮そばの新鶴本店で名物の塩羊羹を買う。土産を一つ買って一安心である。

下諏訪に来たのであるから、諏訪の神様にご挨拶に伺う、黒い鳥居が渋い。何年ぶりであろう。神楽殿や弊拝殿が雪でけぶっている。弊拝殿の檜皮葺きの屋根には雪がうっすら積もり始めており、普段見られない景色を見られた。御利益があったかな。

町屋格子に松に雪

新鶴本店

諏訪退社秋宮大鳥居

神楽殿

龍が吐く諏訪大社のご神湯

弊拝殿

参加者の三橋氏の取り計らいで休館中の旧本陣岩波家を拝観できることになった。三橋氏は、中小企業診断士などの活動で全国を股にかけて歩いているが、本当に全国に知り合いがたくさんいる。

薬医門を入ろうとしてはっとする。玄関へのアプローチの庭がよく手入れされており、飛び石が敷かれ、そこに雪がさらさらと降っている。門が額縁となり、一幅の水墨画のようである。

岩波家薬医門

薬医門からのアプローチ

玄関を入り広間に通されて、さらにはっとする。広間は庭に向けて大きく開口部がとられ、回り縁にガラス戸が回されている。広間の角には隅柱があるが、回り縁の角には隅柱はなく、庭がダイナミックに広がっている。そして、その庭にしんしんと雪が静かに降り積もっている。雪は降り始めたばかりなので、庭木や灯籠などの姿を見られる絶妙なタイミングではないかと思う。もう少し降った後だと、雪ばっかりなってしまってなんだかわからないものになってしまうのではないか。

広間から庭を見る

暖房のよく効いた広間で抹茶を供され、諏訪の冷気ですっかり冷えた体をほぐしほっとする。岩波家ご当主の解説を聞く。一通りお話を聞いたところで、参加者の視線が庭に行っていることに気づいたご当主、「寒いですが、ガラス戸を開けましょうか」と、おっしゃっていただき、ガラス戸を全開に。庭の景色がさらにダイナミックに飛び込んでくる。このお庭は、公女和宮も見たという。諏訪明神の御利益がもっとあった！

うっすら雪化粧の庭

岩波家当主のお話を聞く

公女和宮もご宿泊

さて路地協恒例の懇親会は、上諏訪まで出て、上諏訪駅前の「いずみ屋」である。参加者は、お酒と鍋で冷え切った体を温め、いつも通り飲んで、食べて、笑って、また飲むのであった。

「やっぱり飲みに来たんかい」と諏訪明神の声が聞こえそうである。

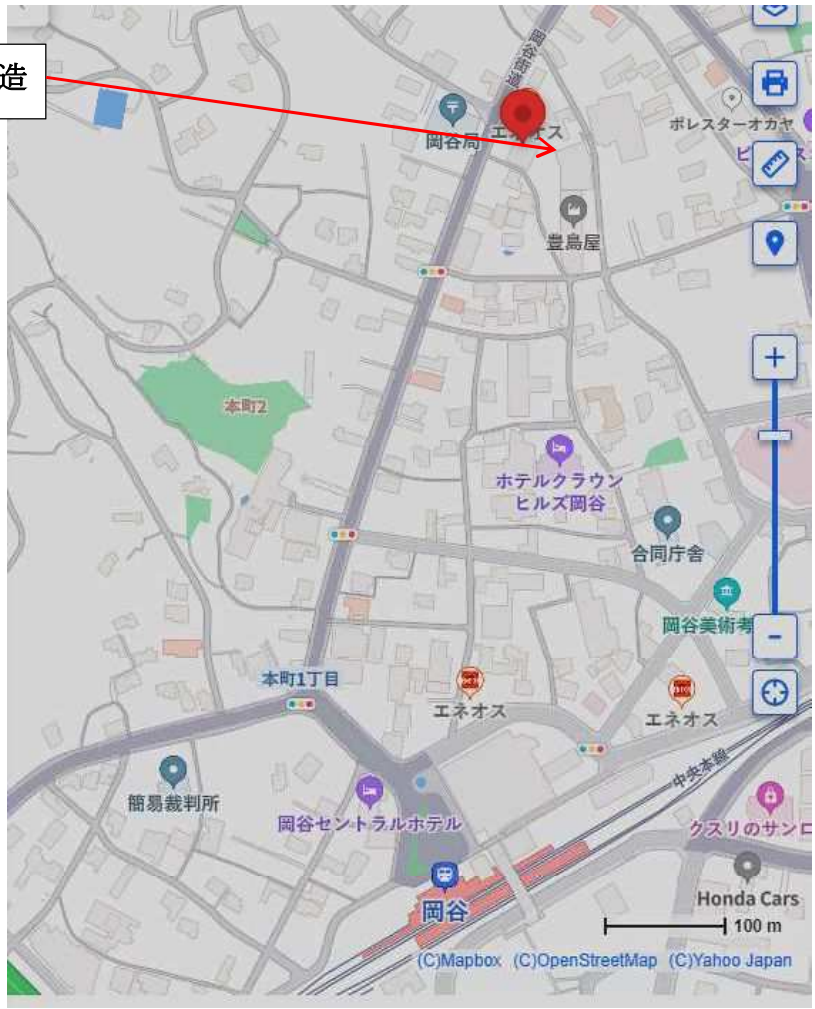
いずみ屋で懇親会

下諏訪のマンホール蓋
やっぱり御柱

2022 年 12 月 17 日

神渡：豊島屋酒造

岡谷の地図



○岡谷では林さんの御実家である豊島酒造（神渡）の工場を見てすぐに下諏訪に向かいます。

午後 1 時　岡谷駅集合
　改札は一か所（駅前広場に集合）
約 10 分歩いて豊島酒造工場見物
（店舗はないので試飲や購買はできず、酒蔵も見学はできません）
１３：４２　岡谷発　１３：４６下諏訪着

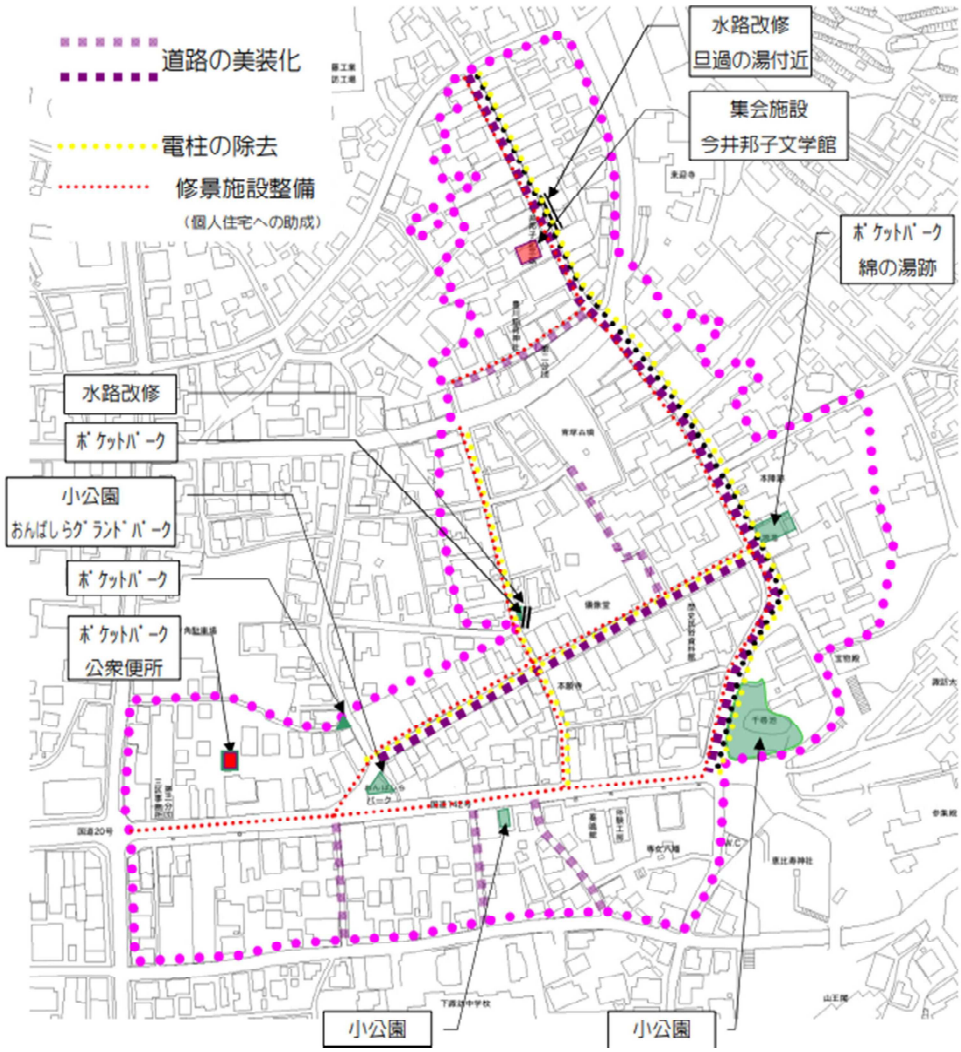
万一電車に間に合わない場合はタクシー
　（約 15 分、2300 円程度）

下諏訪の地図

○１３：４６　下諏訪駅前着　（ここからの参加者もいる場合は午後 2 時出発）
○あちこちの路地などを散策、街道資料館
○午後 3 時頃に秋宮到着　（秋宮―下諏訪駅は徒歩で約 10～15 分）
○この後は自由に路地探訪、諏訪大社、本陣、ミュージアム等見学、温泉入浴、買い物、飲食等
○懇親会参加者は午後 4 時下諏訪発、上諏訪午後 4 時 5 分着　乗り遅れたら各自努力で
○帰京者は　　鉄道：下諏訪駅 16:10,新宿着 18:43 あずさ 44 号、高速バス 17:01,　バスタ新宿 20:35

木村携帯：080-1081-7887　　今井携帯：090-4131-1854
懇親会会場：れすとらん割烹　いずみ屋　　0266-52-3267　費用 4000~4500 円
上諏訪駅を出て（出口一か所）右に（新宿方向）国道 20 号を約１００m、右手にある
あずさ―19:03 上諏訪発　21:14　新宿着、バス―19:24 上諏訪発　22:35　バスタ新宿着

下諏訪町まちなみ環境整備事業（平成 17 年）

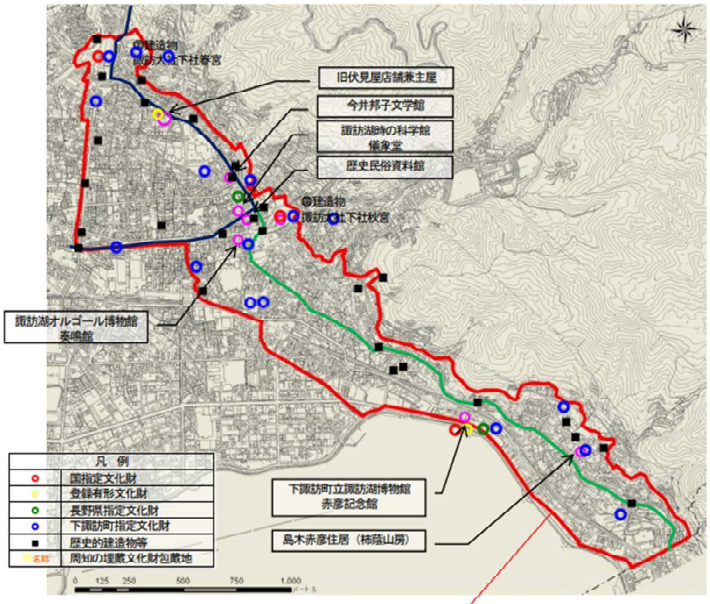


まちづくりのルール　＋　まちづくり協議会活動

○フラワーポットの設置【協議会＋町】
○看板、のれんの統一など【協議会】
○植栽【協議会、個人】
○街なみに合わせた自動販売機の設置【個人】
○エアコン室外機の目隠し【個人】
○駐車場（空地）の目隠し【個人】
○屋根や軒の高さ、色調の統一【個人、協議会】
○街なみ景観に関する研究【協議会】
○板塀の設置【個人】
○建物前面の修景（縦格子、腰板）【個人】
○電柱の除去【電柱管理者＋町＋協議会】
○道路の美装化【町、道路管理者】
○水路の改修【町】
○空き家の除去【町＋協議会】
○小公園の整備【町】
○照明灯の設置【協議会、町】

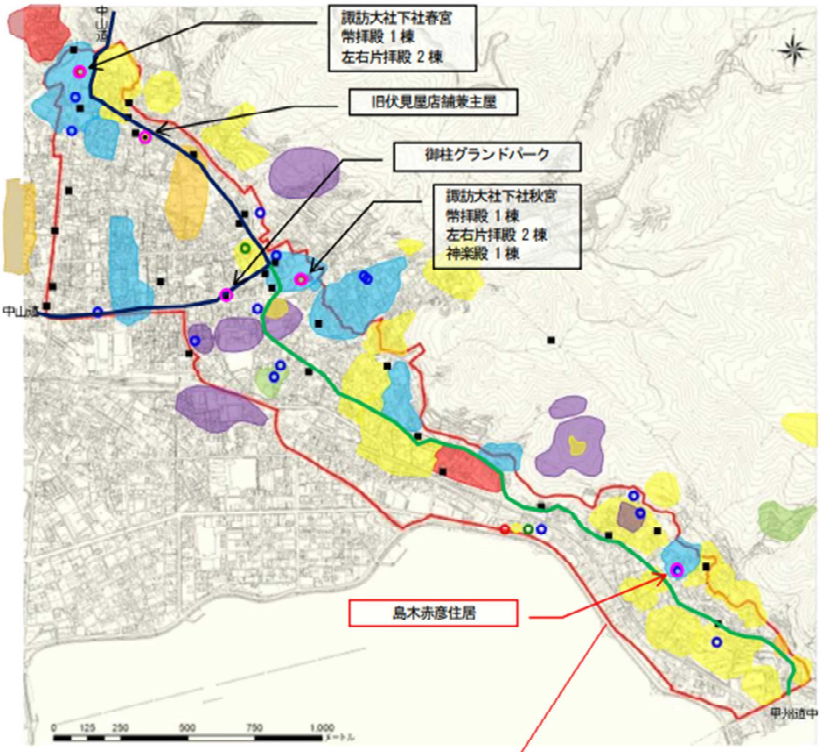
下諏訪町歴史的風致維持向上計画　（平成 20 年）

文化財の保存・活用を行うための施設（展示施設など）



重点区域 A=156.7ha

文化財の修理（整備を含む）に関する計画位置図



重点区域 A=156.7ha

凡　例（文化財）	
○	国指定文化財
○	登録有形文化財
○	長野県指定文化財
○	下諏訪町指定文化財
■	歴史的建造物等

凡　例（周知の埋蔵文化財包蔵地）	
色塗り	時代区分
	旧石器
	縄文
	弥生
	古墳
	奈良・平安
	中世
	近世

1 鶴峯公園 MAP 2-A

住　所：岡谷市川岸上3丁目13
TEL：0266-23-4811
入園料：なし ※見学自由
季節のみどころ：春 5月つつじ祭り 30種余り、3万株。こぶし 桜

常時見学可能

Point 昭和元年に公園化された。初代片倉兼太郎が建てた私立片倉尋常小学校の跡地。現在、中部日本有数のツツジの名所として知られ、初代兼太郎の銅像がある。

2 旧片倉組事務所 MAP 2-B

住　所：岡谷市川岸上1-1-20

外観のみ見学可　私有地につき立入不可

Point 明治43年に建設された大製糸会社片倉組の事務所。現在、中央印刷㈱事務所となっている。木造二階建て、瓦葺(現在は銅板葺き)一階には洋風玄関、事務所は当時の姿を残し、二階には和風の大広間がある。(国登録有形文化財。)

3 旧林家住宅 MAP 2-B

住　所：岡谷市御倉町2-20
TEL：0266-22-2330
休館日：毎週水曜日/祝日の翌日/12月29日～1月3日
冬期間(11月4日～3月31日までの平日)
入館料：一般/580円 小・中学生 /270円
開館時間：9:00～16:30(12月～2月は10:00～15:00)
季節のみどころ：春 梅、水仙、つつじ／夏 サルスベリ、モッコウバラ／秋 紅葉

見学可

Point 明治30年代に建てられ、明治40年秋にほぼ完成した 夯（イチヤマカ）林製糸所の初代林国蔵の住宅。「幻の金唐革紙」が貼り巡らされている和室の希少価値は高い。(国指定重要文化財。)

4 成田公園 MAP 2-B

住　所：岡谷市成田町1-7
入園料：なし ※見学自由
TEL：0266-23-4811
季節のみどころ：春 桜

常時見学可能

Point 大正6年に昭和天皇の立太子記念に造られた公園。多くの工女さんも訪れた憩いの場だった。製糸業に大きく貢献した第十九国立銀行頭取黒澤鷹次郎の寿像がある。

5 丸山タンク MAP 2-B

住　所：岡谷市中央町1-10-8
入館料：なし ※見学自由

外観のみ見学可

Point 大正3年に塚間川の西方一帯の製糸工場へ給水のために建設。天竜川にポンプを設置し、水を揚げた。現在は、タンクの基台であった直径12mの巨大な三重円筒型レンガ積が残る。

6 旧山一林組製糸事務所・守衛所 MAP 2-B

住　所：岡谷市中央町1-13-17
TEL：0266-24-2245(きぬのふるさと岡谷絹工房)
休館日：月・水・木・金　入館料：無料
開館時間：9:00～16:00
季節のみどころ：秋 紅葉

体験可　要予約

Point 明治12年に創業した山一林組の事務所。建築は大正10年。製糸全盛期をしのぶ数少ない建築。現在、きぬのふるさと岡谷絹工房が織物製作を行っている。国登録有形文化財。

7 丸十繭倉庫 MAP 2-B

住　所：岡谷市本町2-5-8
入館料：なし

外観のみ見学可

Point 建築年代は明治期と推定されている。旧サスダイ中村甫助製糸所の繭倉庫であったが、現在は㈱サイトドラマが譲り受けレコード店となっている。岡谷に残る数少ない繭倉庫。白壁土蔵造りで、繭を自然乾燥させるために窓を多く付けた構造。繭倉庫は糸都岡谷の象徴であった。

8 蚕霊供養塔（照光寺） MAP 2-B

住　所：岡谷市本町2-6-43
入館料：なし ※見学自由
季節のみどころ：春 桜

外観のみ見学可

Point 昭和9年に製糸業関係者が発起人となり約3万人の寄付により照光寺境内に建立。本尊は馬鳴菩薩で、毎年4月29日に御開帳と法要が行われる。市指定文化財。

岡谷蚕糸博物館 MAP 1-C

見学可

住　所：岡谷市郷田1-4-8　TEL：0266-23-3489
休館日：毎週水曜日、祝日の翌日、12月29日～1月3日その他臨時休館日あり
入館料：一般510円/中・高校生310円/小学生160円　季節のみどころ：春 梅、桜　夏 マルベリー広場の桑
開館時間：9:00～17:00 動態展示・まゆちゃん工房は9:00～12:00、13:00～16:00※時間は変更することがございます。

9 岡谷蚕糸博物館所蔵資料

Point 日本の近代化を担った製糸業の歴史と精神を伝える資料。国内に唯一現存するフランス式繰糸機や、諏訪式繰糸機などの機械や器具など3万点を超える製糸関連資料を所蔵・展示。

10 旧蚕糸試験場所蔵機械等

Point 旧農林省蚕糸試験場が使用していた自動繰糸機をはじめ、繭乾燥から製糸まで一連の生産機械が残され、現在は岡谷蚕糸博物館の動態展示エリアで展示・使用されている。

11 旧岡谷上水道集水溝 MAP 1-B

住　所：岡谷市山手町3-4071

外観のみ見学可

Point 昭和2年に造られ昭和63年まで利用されていた集水溝。製糸業の降盛に伴い水需要の増加と衛生面から上水道建設の要請が高まり建設。国登録有形文化財。

12 旧岡谷市役所庁舎 MAP 1-C

住　所：岡谷市幸町8-1
TEL：0266-23-4811
入館料：なし
季節のみどころ：春 塚間川沿い八重桜、つつじ 秋 イチョウの紅葉

外観のみ見学可

Point 昭和11年に製糸家の尾澤福太郎が市制施工を記念して寄贈。昭和62年まで市役所として使用された。外壁のスクラッチタイルは高遠（現伊那市）で焼かれ、一見の価値がある。国登録有形文化財。

13 新増澤工業株式会社所蔵機械（横フライス盤） MAP 1-C

住　所：岡谷市加茂町1-2-5

工場内のため見学不可

Point 明治29年に創業。日本に残る数少ない製糸機械メーカー。
昭和5年から販売した「増澤式多条繰糸機」は日本一のシェアを誇った。「横フライス盤」は製糸機械の製造に使われた。

14 旧山上宮坂製糸所 事務所・工場棟・再繰工場棟・居宅 MAP 1-C

住　所：岡谷市加茂町3丁目2
入館料：なし

外観のみ見学可　私有地のため一部立入不可

Point 明治7年に創業。座繰り繰糸にはじまり、大正～昭和の全盛期と戦後の復興期に中規模製糸工場として操業。敷地内には昭和2年に建築された事務所を始め、一連の工場体系が残されている。

15 丸中宮坂製糸所繭倉庫 MAP 1-C

住　所：岡谷市東銀座2-13-28
季節のみどころ：春 桜（横河川）

外観のみ見学可

Point 昭和3年に創業。岡谷蚕糸博物館に併設している宮坂製糸所が現在も繭の保管の目的で使用している繭倉庫。宮坂製糸所は明治から使われていた「諏訪式繰糸機」を稼働している全国で唯一の製糸工業。

近代化産業遺産群

岡谷市では、市内の製糸にかかわる15件の産業遺産が、『「上州から信州そして全国へ」近代化製糸業発展の歩みを物語る富岡製糸場などの近代化産業遺産群』として、平成19年に経済産業省より認定されました。

※「近代化産業遺産」は、幕末から昭和初期にかけて日本の産業近代化に貢献した建物や機械、文書などの地域活性化をはかるために、経済産業省が認定したものです。

シルク岡谷とは…

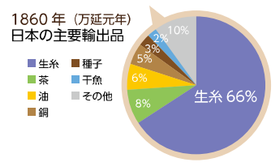
岡谷市は、明治から昭和初期にかけて日本の製糸業の中心地でした。
生糸の輸出を通して日本の近代化を支えた歴史を持ちます。
その生糸の品質は国内外で高く評価され、欧米からはSILK OKAYA
国内では「糸都(しと)岡谷」と呼ばれ、その名は世界に響きわたりました。

日本の近代製糸業と岡谷

岡谷は日本の製糸業の中心として、生糸の輸出で外貨を獲得。日本の近代化を支えた。

- 1853年（嘉永6年） ペリー来航
- 1859年（安政6年） 横浜開港 日本の生糸輸出が始まる
- 1872年（明治5年） 官営富岡製糸場設立
- 岡谷：1875年（明治8年） 中山社創業「諏訪式繰糸機」開発
- 岡谷：1878年（明治11年） 垣外製糸場を創業 のちの「片倉組」
- 1914年（大正3年） 第一次世界大戦
- 1932年（昭和7年） 日本が世界一の生糸生産国に
- 1941年（昭和16年） 太平洋戦争

1860年（万延元年）日本の主要輸出品



横浜開港以来、昭和9年まで75年間、生糸は輸出の第1位であった。

1924年（大正13年）全国の輸出生糸生産高

TOP5
1位 長野県（全国29%）
※岡谷は（全国11%）
2位愛知県
3位埼玉県
4位群馬県
5位山梨県

シルク岡谷の礎 ～明治初期に活躍した製糸家

明治から大正、昭和のはじめにかけて、岡谷には製糸業が飛躍的に発展し、「シルク岡谷」の名が世界にとどろいた。この発展の礎は、明治黎明期に活躍した人々によって築かれた。

武居代次郎（1838～1896）

日本中で使用された諏訪式繰糸機を開発

「キカイ道楽」と呼ばれた情熱と創意工夫の人

武居代次郎は明治8年に中山社を9人共同で創業し、イタリア式とフランス式繰糸機の長短を分析して安価で実用的な「諏訪式繰糸機」を開発。
これは瞬く間に全国へと普及し、各地で生糸の工場生産体制が整えられた。

初代 片倉兼太郎（1849～1920）

日本一の製糸工場「片倉組」を創設

勤勉倹約・堅実経営・技術重視の精神

初代片倉兼太郎は、明治11年に垣外製糸場を創業し、翌年には製糸結社の開明社を設立。
明治28年に片倉組を創設し、卓越した先見力と強いリーターシップで日本を世界一の製糸王国へ導いた。
勤勉倹約、堅実経営、技術重視という経営哲学は、諏訪地方の産業にも脈々と受け継がれている。

尾澤金左衛門（1833～1894）

生糸の品質管理技術を普及させ、世界市場からの信用を獲得

結社・共同揚返しは画期的な出荷方法

尾澤金左衛門は、明治12年に製糸結社、開明社を初代片倉兼太郎や林倉太郎とともに組織。
生糸の需要が急増にともない、日本の製糸業を粗雑品などの問題が深刻化していたが、揚返しを共同で実施することで、生糸の品質管理の徹底を図った。これが全国に普及し、日本の生糸は海外市場からの信用を獲得した。明治27年に尾澤組を創設。

林国蔵（1846～1916）

（分）林製糸所を経営、様々な事業を展開

豊かな発想と先見性に富む実業家

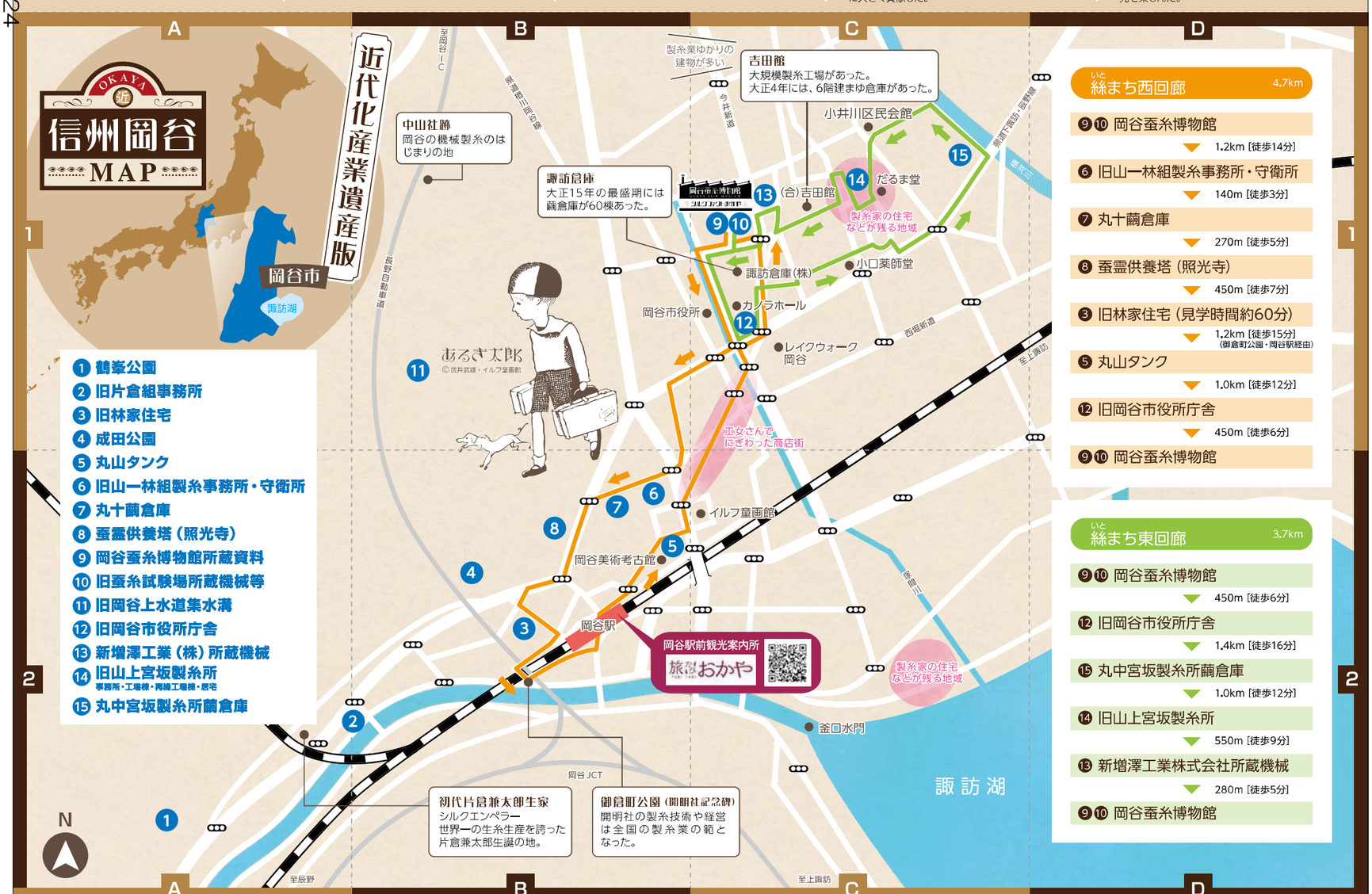
林国蔵は、岡谷三大製糸家の一人と呼ばれた実業家で、東京の日本橋にビルを構える程に成功した人物。父倉太郎が創業した穴(イチヤマカ)林製糸所を明治19年に引継ぎ、開明社の経営に参画した。国蔵はまれにみる実業家で、先駆けて中国産繭の輸入に着手、製糸工場の燃料不足が問題になるや、諏訪薪炭株式会社を創設、石炭の採掘を行うなど製糸業発展に大きく貢献した。

黒澤鷹次郎（1850～1919）

第十九国立銀行頭取。諏訪倉庫の創業者

長野県の蚕糸業の発展に金融で貢献

黒澤鷹次郎は、明治大正期の銀行家。明治10年長野県上田の第十九国立銀行の設立に参加し、明治20年から頭取。製糸金融を活発にし、諏訪郡内の製糸家に対して、繭を担保とした融資。横浜へ生糸を発送する際の販売代金立替払い(荷為替取組)を積極的に行い、機械製糸業の発展に大きく貢献。成田公園には鷹次郎の寿像があり、桜の時期には工女さんがお花見を楽しんだ。



絲(いと)まち西回廊 4.7km

- ⑨⑩ 岡谷蚕糸博物館
- ▼ 1.2km［徒歩14分］
- ⑥ 旧山一林組製糸事務所・守衛所
- ▼ 140m［徒歩3分］
- ⑦ 丸十繭倉庫
- ▼ 270m［徒歩5分］
- ⑧ 蚕霊供養塔（照光寺）
- ▼ 450m［徒歩7分］
- ③ 旧林家住宅（見学時間約60分）
- ▼ 1.2km［徒歩15分］（御倉町公園・岡谷駅経由）
- ⑤ 丸山タンク
- ▼ 1.0km［徒歩12分］
- ⑫ 旧岡谷市役所庁舎
- ▼ 450m［徒歩6分］
- ⑨⑩ 岡谷蚕糸博物館

絲(いと)まち東回廊 3.7km

- ⑨⑩ 岡谷蚕糸博物館
- ▼ 450m［徒歩6分］
- ⑫ 旧岡谷市役所庁舎
- ▼ 1.4km［徒歩16分］
- ⑮ 丸中宮坂製糸所繭倉庫
- ▼ 1.0km［徒歩12分］
- ⑭ 旧山上宮坂製糸所
- ▼ 550m［徒歩9分］
- ⑬ 新増澤工業株式会社所蔵機械
- ▼ 280m［徒歩5分］
- ⑨⑩ 岡谷蚕糸博物館

「岡谷シルク推進事業」 新しいシルク文化が生まれるまちへ
「岡谷シルク」とは、まちの歴史と文化を活かし、「新しいシルク文化」を創造する取り組みのこと。糸の都岡谷だから体験・体感できる価値を提供していきます。

発行者
岡谷市産業振興部ブランド推進室
〒394-0021 岡谷市郷田1-4-8 岡谷蚕糸博物館内
電話 0266-23-3489 FAX 0266-22-3675 E-mail brand@city.okaya.lg.jp
岡谷シルク HP

歩きたいわ しもすわ 99分のまちあるきマップ

大社の杜に抱かれた、いにしえの歴史情緒が息づく ぶらり散策がたのしいまち

諏訪大社下社を参拝する人々や、江戸時代の中山道の中で唯一の温泉宿場町として、多くの商人や旅人を迎え下諏訪町は栄えてきました。歴史、おいしいもの、温泉、町並み、工房やものづくり体験。ゆったり歩いて一日を過ごすのにちょうど良い広さの諏訪大社下社周辺。いろいろな楽しさを発見してください。

諏訪大社とは

全国諏訪神社の総本社

諏訪神社の総本社諏訪大社は、諏訪湖を挟んで、南の上社（本宮【諏訪市】、前宮【茅野市】）北の下社（秋宮、春宮【ともに下諏訪町】）の4カ所に鎮座しています。

建御名方神と妃神・八坂刀売神、下社には併せて御兄八重事代主神を祀ってあるが、一般には古くから、上社が男神、下社が女神を祀ると言われています。社殿は、本殿のない「諏訪造り」です。

大社の神事

天下の大祭・御柱祭

諏訪大社最大の神事。7年に1度、申と寅の年に諏訪大社の御宝殿を造営し、その四隅に御柱を曳き建てます。

遷座祭・お舟祭（8月1日）

下社の神様は、2～7月は春宮に、8～1月は秋宮に鎮座します。年2回、お移りになる遷座祭があります。春宮から秋宮への8月1日の遷座祭「お舟祭」は柴舟が曳かれ盛大に行われます。

お問い合わせ

観光全般 **下諏訪観光協会**
☎0266-26-2102
◀下諏訪町観光公式サイト

宿泊案内 **下諏訪観光案内所**
☎0266-28-2231（水曜定休）
◀下諏訪温泉旅館組合HP

おすすめ まちあるきコース

諏訪大社下社を参拝 三角八丁コース 徒歩 約99分

THE 定番まち歩きコース。春宮、秋宮、大灯籠をつなぐ一辺八丁（872.72m）の三角形の中には下諏訪の代表的な観光名所がつまっています。

諏訪大社下社秋宮 →〔徒歩15分〕→ 伏見屋邸 →〔徒歩10分〕→ 諏訪大社下社春宮 →〔徒歩5分〕→ 万治の石仏 →〔徒歩10分〕→ 下馬橋 →〔徒歩15分〕→ 大灯籠 →〔徒歩5分〕→ 相楽塚 →〔徒歩20分〕→ 諏訪大社下社秋宮

春宮周辺をめぐる 癒やしコース 徒歩 約60分

静かにのんびり過ごしたい人にオススメ。
川のせせらぎを聞きながら歩いたその先には、シュールな石仏が！！

春宮 →〔徒歩2分〕→ 浮島 →〔徒歩2分〕→ 万治の石仏 →〔徒歩3分〕→ 諏訪湖絶景ポイント →〔徒歩3分〕→ 慈雲寺 →〔徒歩5分〕→ 伏見屋邸 →〔徒歩5分〕→ 春宮

下諏訪歴史散策 タイムトラベルコース 徒歩 約60分

縄文時代から現代まで、当時の情景を思い浮かべながら下諏訪の歴史を辿ってみてはいかがでしょうか？最後は足湯に浸かってのんびりお過ごし下さい。

矢の根や（おいでや内）→〔徒歩2分〕→ 青塚古墳 →〔徒歩3分〕→ 中山道・甲州道中合流地点 →〔徒歩1分〕→ 味のある路地 →〔徒歩7分〕→ 馬場（犬射場の標石）→〔徒歩6分〕→ いいなり地蔵 →〔徒歩2分〕→ 秋宮 →〔徒歩2分〕→ 儀象堂（おいでや内）→ 足湯（おいでや内）

ディープな下諏訪を発見！ 路地裏散策コース 徒歩 約60分

地図上のアイコンが目印です。

昭和風情のある路地や、知る人や知る抜け道など、ローカルな下諏訪を発見できるかも？！

諏訪大社下社秋宮 →〔徒歩1分〕→ ① 歴史のこみち（宿場街道資料館内を通過）→〔徒歩1分〕→ ② 飛やじ裏路地 →〔徒歩3分〕→ 御湖鶴 →〔徒歩1分〕→ ③ パン工房たるかわ裏路地 →〔徒歩1分〕→ ④ トタン路地（八十二銀行裏）→〔徒歩2分〕→ ⑤ くらしの路地 →〔徒歩5分〕→ ⑥ 飲み屋街路地（平沢町）→〔徒歩4分〕→ ⑦ レトロ路地（菅野温泉）→〔徒歩3分〕→ 高札ひろば →〔徒歩2分〕→ ⑧ 味のある路地 →〔徒歩1分〕→ 諏訪大社下社秋宮

おんばしら館 よいさ ☎0266-26-0413 入館料 大人 300円 / 小・中学生 200円
七年に一度、開催される「御柱祭」に対する諏訪人の思いとその迫力をお楽しみいただける施設です。

本陣岩波家（※要予約） ☎0266-28-7055 入館料 大人 500円 / 小人 300円
参勤交代の大名らが泊まった本陣。江戸時代の建物と庭園が、今もそのまま残されています。

しもすわ今昔館 おいでや ☎0266-27-0001 入館料 大人 600円 / 小人 300円
東洋のスイスと呼ばれた諏訪地方。世界唯一の水駆動による大型天文時計装置の復元展示や時計の組立が人気。また、日本酒産業に認定された黒曜石採掘抗ジオラマや下諏訪の歴史を体感できる。

日本電産サンキョーオルゴール記念館 すわのね ☎0266-26-7300 入館料 大人 1,000円 / 小人 500円
世界一のオルゴール生産地だった下諏訪町。癒しの音色とライブコンサートと歴史が楽しめる。組み立て体験コーナーは楽曲多数。ギフトも充実。

万治の食べ歩きチケット

飲食店やおみやげ店など約25店舗でシールと引き換えに様々な特典を受けられるチケット。
料金：1枚 500円
販売場所：下諏訪観光案内所、しもすわ今昔館おいでや、観光案内所（秋宮前）

広域図

右図

コース一覧
- 三角八丁
- 癒やし
- タイムトラベル
- 路地裏散策

三角八丁 距離の目安
春宮 0.8km 秋宮 1.1km 大灯籠 0.9km 下諏訪駅 0.2km

English map

2022.08. 50,000

温泉銭湯 / 温泉足湯 / 旅館・ホテル / お食事（不定期営業） / 昼のみ / 夜のみ / 名物・おみやげ / 工房・体験 / 案内所 / トイレ / 無料駐車場 / 有料駐車場 / タクシー / レンタサイクル / WiFiスポット（※一部制限あり） / コンビニ・ATM / 路地

▲上田・佐久方面
毒沢鉱泉（2km）
木落し坂（2.4km）
八島湿原（18km）

142 / 185 / 20 / 大門通り / 中山道 / 中央通り / 御田町通り / 花見新道 / 湯川沿 / 大社通り・八幡坂 / 諏訪湖 / 諏訪方面 / ▼至 いずみ湖 / 岡谷・松本方面 / 下諏訪町役場 / 下諏訪総合文化センター

- 万治の石仏 — 万治3年11月1日と刻まれている。春宮大鳥居の件者と同じ石工が彫ったとの口伝えなどがある。日本人ばなれした顔から種々の謎を生ずる石仏である。岡本太郎が世に出した石仏として有名。
- 岡本太郎書の石碑
- 浮島社 — どんなに大水が出ても流されない島【下社の七不思議】
- カフェ お茶処 花結び
- パン屋 pain moji
- 諏訪大社下社 春宮
- おんばしら館 よいさ
- 十間堂茶屋
- 宮の前そば店
- 下馬橋 — 諏訪大社下社最古の木造建造物。御手洗川にかけられた屋根付きの太鼓橋
- 髪処の湯 — 足湯のある美容院。駄菓子の販売もあります
- 髪処化粧屋
- 萩月庵千ひろ（そば）
- 力石 — 昭和初期まで若者の力くらべに使われた石。大きいのは60kgほどです
- 医王渡橋 — 「医王」とは薬師如来の異称である。春宮の別当寺が観照寺で、その本尊が薬師如来であり、その地に渡るという意味で付けられた名称と言われる
- かつては春宮の専用道路
- サンコーパン
- 諏訪共立病院
- 長野県信用組合 下諏訪支店
- 慈雲寺 — 天桂の松（町指定天然記念物）／武田信玄が保護した寺
- 諏訪湖の絶景ポイント
- 水月公園 — 諏訪湖の絶景ポイント
- 信玄の隠し湯と呼ばれ、負傷兵がこの湯で治療したという薬湯
- 石段 126段
- 矢除石 — 宝光院
- 竜の口 — 江戸時代中期の作品
- 武田信玄が石の上に立つ僧に向かって弓の名手に矢を射らせたが、矢は全てはねかえされ上人には一本も当たらなかったという伝説の石です
- いぼ石 — 1つだけ丸い穴がたくさんあいた石があるこの石にたまっている水をイボにつけると治るとか
- 伏見屋邸 — 江戸時代当時の建築様式や生活用品の展示を無料公開しています
- 御作田社の石垣
- 御作田社 — 3帖ほどの神田で、6月30日に田植えをし8月1日に刈り取る習わしがあります【下社の七不思議】
- 精密な石組み。製糸業が隆盛だった頃、片倉組が寄贈したものらしいです
- 築120年以上の貴重な蔵。1階には製糸業の資料や写真を展示しています
- 七曜星社蔵
- 明治20年開設の道。桜の名所
- 徳川家康が制定した五街道のひとつ。江戸～京都に至る街道
- ひとつぶの麦（カフェ）
- 番屋跡碑
- 女性だけの短歌結社「明日香社」を主宰したアララギ派の歌人今井邦子の資料館。邦子の実家で江戸時代の茶屋
- 今井邦子文学館
- たい焼き 七彩 Jeeen
- 鉄鉱泉本館
- ワインショップ&スタンド 湯田坂 岩井堂酒店
- 来迎寺 — 浅間地蔵尊（和泉式部の守り本尊）
- 湯田坂 — 急な下り坂の向こうに温泉宿がある。防衛の手段として、敵が一気に攻め込み難くする為のなごりです
- 旦過の湯
- タロウ珈琲弐号店 — 岡本太郎書の石碑
- 慈雲寺への修行僧のために建てられた旦過寮がはじまり。熱い湯で有名
- 諏訪信用金庫 御田町支店
- 牛すじカレー 下町ひまわり
- Café Tac（カフェレストラン）
- 丸一（とんかつ）
- 弦楽器工房 LIUTAIO HIROTO SAI
- 青塚古墳 — 諏訪地方唯一の前方後円墳。県指定文化財
- 中山道 諏訪 本陣岩波家 — 江戸時代の大名・公家などの宿となった家。宿場を統括する機能もあった。武家茶屋の遺構、庭園などを今も岩波家が代々引き継いでいます（要予約）
- 二葉屋酒店
- 遊泉ハウス児湯
- 中川旅館
- 美人になり子宝に恵まれるという温泉
- 旅館 奴
- 御宿まるや
- みなとや旅館
- 甲州道中・中山道合流の地
- 綿の湯
- 秋宮スケートリンク
- 梅月
- 時計組立 — 諏訪地方唯一の時計工房 信泉堂
- 観光振興局
- 御柱神湯
- 八幡坂 高札ひろば お休み処
- 味のある路地
- 高札ひろば
- 八幡坂
- 観光案内所（秋宮前）
- 梅屋新鶴本店
- 境内社
- 宝物殿
- 子安社
- 神楽殿
- 千尋池
- 手水舎
- 諏訪大社下社 秋宮
- 日本一大きい青銅製の狛犬
- 女神様がお湯を浸した化粧用の綿をここに置いたら温泉が湧いた。神の湯と言われた綿の湯は、不浄の者が入ると湯が濁るといわれています
- 御神湯 — 諏訪明神の竜神伝説にちなんだ温泉の手水舎
- 参拝者用
- 専女八幡
- 八幡社 恵比寿社 — 航海の神、漁業・商売の神様
- 白松（本殿横） — 三本一束になった葉を財布にいれると金がたまるといわれています
- 根入りの杉 — 真夜中、枝を三寸下げて眠り、幹に耳を当てるといびきが聞こえるとか。葉を枕に入れると安眠できるといわれています
- いいなり地蔵 — 神宮寺跡。祈願すれば何でも叶えてくれるというお地蔵さん
- 専女の欅 — 芽吹き紅葉で気候を占い農耕の目安にする陽気木
- みやさか（そば）
- 春屋 — 江戸末期の旅籠
- 日本電産サンキョー オルゴール記念館 すわのね
- オルゴール組立
- 喫茶
- 犬射馬場 — 昔の弓馬練武場／敷地の境界を示した4つの標石は、長い時間を経て日常生活に取り込まれていきました。地図を手がかりに探してみましょう。
- 梶原塚 — 源頼朝の信任厚く、平氏の討伐にも功績のあった「梶原平三景時」の塚
- 諏訪湖（1.4km） / 諏訪湖博物館（1.4km） / 柿陸山房（2km） / 橋本政屋（2.3km）
- 諏訪大社下社 春宮 — 万治3年11月1日と刻まれている。春宮大鳥居の件者と同じ石工が彫ったとの口伝えなどがある。日本人ばなれした顔から種々の謎を生ずる石仏である。岡本太郎が世に出した石仏として有名。
- 大灯籠 — 文政12年（1829年）建立。この灯籠から春宮、秋宮を結ぶ中山道を一辺とした三角形を三角八丁と呼んでいます。灯籠～秋宮まで、灯籠～春宮までが約八丁の距離です。※一丁…109.09m 八丁…872.72m
- 相楽塚（さがらづか 魁塚）— 維新の魁になった赤報隊 隊長・相楽総三を祀る
- だんらん
- 諏訪信用金庫 下諏訪支店
- 春宮大門 / 交番入口 / 下諏訪駅前 / 大社通り / 栄町 / 大門通り
- 高速バス のりば
- 旧薬倉庫群跡
- 明治25年建立。重さ7,200kg 高さ8.5m
- 矢木温泉
- 天ぷら 一茶
- カフェ アップルハウス
- 下諏訪町交番
- 友之町駐車場（観光客は無料）
- 八十二銀行
- 食祭館
- 山猫亭 はなれ店
- 菅野温泉
- 蕎麦屋みのり
- 町営四ツ角駐車場（大型／普通車）
- あざみ工房（機織）
- 諏訪御湖鶴酒造場
- 駄菓子とビールとコーヒーのお店
- ちいとこ商店
- あんず木工房（木工）
- 食堂 暁316
- 栄寿司
- Eric's Kitchen（カフェ）
- 御田町 — 下諏訪唯一の酒蔵がある商店街。作家が工房兼ショールームとして空き家を活用している。
- ゲストハウス マスヤ
- ザワストアー
- ダイシメ惣菜店
- ミミギ菓子店
- 衣紋坂
- 飛やじ
- おばんざいとお酒
- ninjinsan（古道具店）
- 食事 お酒
- Polom
- 御田町
- 中華 宝華
- 寿司 東寿司
- 大増旅館
- 新湯
- 無伴奏（カフェ）
- 布小物 すみれ洋裁店
- 洋菓子・カフェ フレール洋菓子店 — 岡本太郎も通った老舗の洋菓子・喫茶店
- うなぎ うな富
- 駄菓子屋 まほろはな
- わかさぎ うなぎ 林屋川魚店
- うなぎ 林屋
- 福田屋本店（和菓子）
- SEIYU
- 大門通り
- 春宮大門
- 交番入口
- 下諏訪駅前
- 栄町
- 下諏訪郵便局
- 居酒屋 あず さ
- 居酒屋 とり志
- 本山川魚店
- 喫茶店 gatoha カフェ sulosu 陶芸
- 福味屋（中華）
- 2F ゆき（居酒屋）
- 喫茶 テラリューム 2F / アロンジー 1F（洋食）
- グリーンサンホテル
- 本田食堂
- 居酒屋しょぱ
- チャボ食堂（チャボかつ丼）
- KEN KENレストラン サロン「しもすわ」（手作りの味）
- さとう名産店
- 方言館
- ら。shirotori
- 観光案内所
- 下諏訪駅
- 下諏訪町役場
- 下諏訪総合文化センター
- あり井
- UMI COFFEE & LAUNDRY
- 25

下社秋宮周辺

1. 点音 — 日本のサウンド・アートの先駆者、鈴木昭男による作品
2. 山猫亭 本店（そば）
3. 大社煎餅 下諏訪店
4. 二十四節氣 神楽（御結びと季節の汁物）
5. 1F CAFE Zin / 2F 根津八紘美術館
6. 桔梗屋
7. 宿場街道資料館 — 江戸時代の下諏訪宿に関する資料館。昔の下諏訪を知ると一層楽しいまち歩きができます
8. まるや工芸店 / 茶房まどか（カフェ）
9. 聴泉閣かめや（幕末に皇女和宮がお泊りの宿）

新鶴本店
—創業明治6年—

新鶴 塩羊羹
当店以外では販売しておりません

営業時間 9:00–17:30　定休日 水曜日
〒393-0014 諏訪郡下諏訪町木の下3501
（諏訪大社下社秋宮隣）
Tel.0266-27-8620　Fax.0266-27-0825

諏訪御湖鶴酒造場　蔵元ショップ

お酒、グッズの販売
有料試飲、見学（予約制）
下諏訪町御田町3205-17
Tel.0266-75-1172
https://www.mikotsuru.com
営業時間 10:00–16:30　水曜定休
最新情報発信中！

信州下諏訪の酒
御湖鶴
Mikotsuru

うなぎ林屋
長野県諏訪郡下諏訪町31
Tel/Fax: 0266-28-8372
11:30–14:00［L.O.］/ 17:30–20:00［L.O.］
水曜日定休　https://unagihayashiya.com

うなぎ林屋

諏訪大社下社秋宮前

おみやげ処
東女八幡
とうめはちまん
Tel.0266-26-4444　下諏訪町大社通5811
営業時間 9:00–17:00（シーズン中は18:00まで）

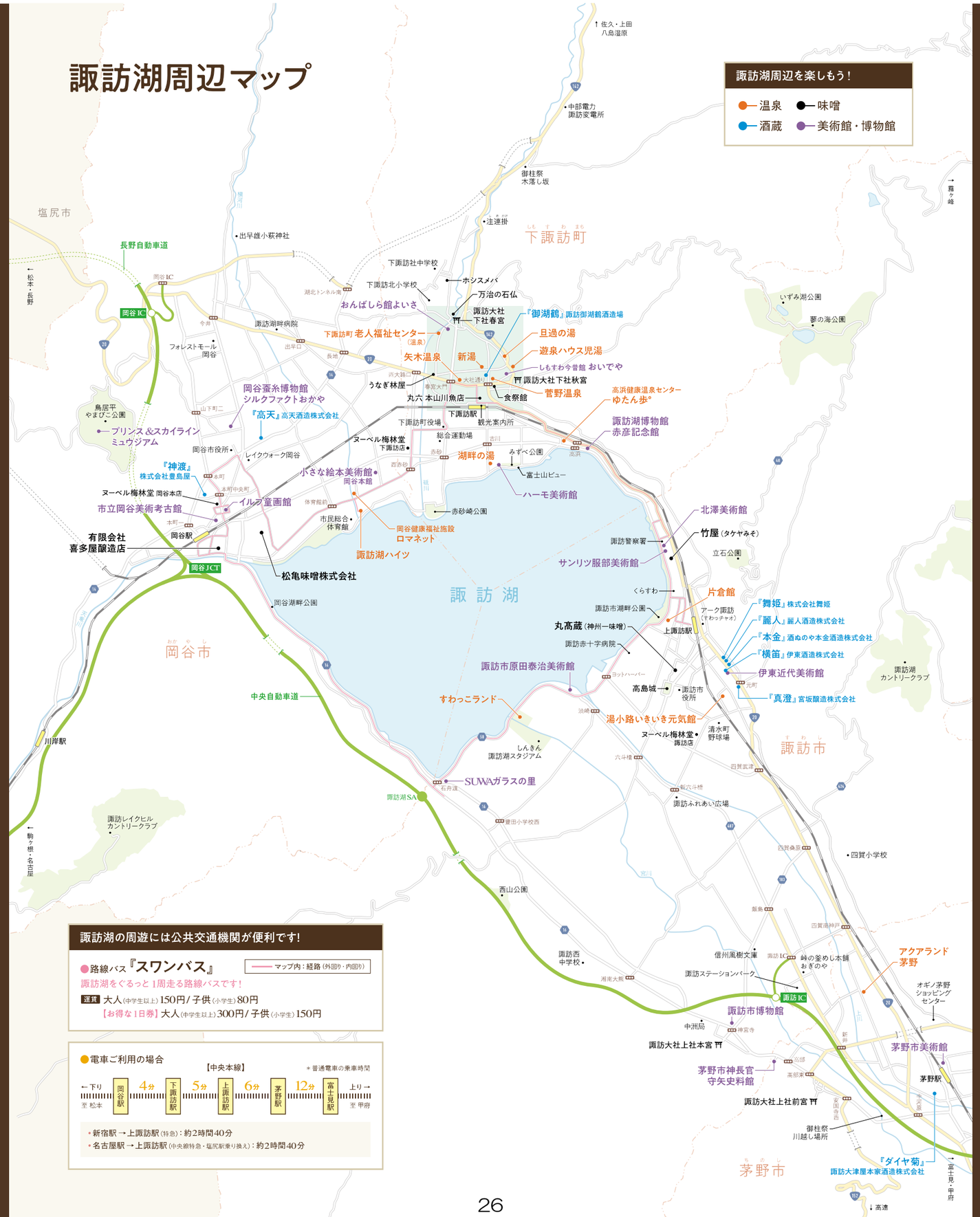
諏訪大社・諏訪湖・八島湿原と
神秘と自然の恵みあふれる
中山道唯一の
温泉宿場町

お泊まりは下諏訪温泉へ　下諏訪温泉公式HP shimosuwa.com
下諏訪観光案内所・下諏訪温泉旅館組合（JR下諏訪駅構内／水曜定休）Tel.0266-28-2231

もっと美味しいお菓子を、もっと多くの皆様へ。

ヌーベル梅林堂 Nouvel Bairindo
ヌーベル梅林堂 下諏訪店
TEL.0266-75-0330 下諏訪町西赤砂4360-5
【営業時間】10:00～19:00　定休日 元旦のみ
https://www.nouvel-bairindo.com

諏訪湖周辺マップ



諏訪湖の周遊には公共交通機関が便利です！

●路線バス『スワンバス』
諏訪湖をぐるっと1周走る路線バスです！
運賃 大人（中学生以上）150円／子供（小学生）80円
【お得な1日券】大人（中学生以上）300円／子供（小学生）150円

マップ内：経路（外回り・内回り）

●電車ご利用の場合

【中央本線】　＊普通電車の乗車時間

← 下り　至 松本　岡谷駅 —4分— 下諏訪駅 —5分— 上諏訪駅 —6分— 茅野駅 —12分— 富士見駅　上り → 至 甲府

＊新宿駅 → 上諏訪駅（特急）：約2時間40分
＊名古屋駅 → 上諏訪駅（中央線特急・塩尻駅乗り換え）：約2時間40分

下諏訪のお土産・お休み処
亀屋一福 KAMEYA IPPUKU

中山道下諏訪宿 門前ひろば
食祭館
Tel.0266-26-4932
10:00–16:00 不定休
下諏訪町大社通り5522-2
http://shokusaikan.net

会員登録無料！
もっと移動が 便利 で おトク に
JR東日本の きっぷの購入は えきねっと

便利
スマホ・パソコンからきっぷの予約！だから、どこからでも申込可能！

おトク
ドクだ値 をはじめ、会員限定のおトクな商品が購入可能！

詳しくは えきねっと https://www.eki-net.com
＊イラストはイメージです。＊2022年10月現在の情報です。＊最新の内容はホームページでご確認ください。
JR東日本 長野支社

川魚は美味しさと栄養の宝庫です
鯉うま煮・うなぎ蒲焼き・わかさぎ甘露煮
Tel.0266-27-8475
下諏訪町5325（下諏訪駅前）
営業時間 9:00–17:30　定休日 水曜日
本山川魚店 検索
http://maruroku-motoyama.com/
丸六 本山川魚店

御柱ジオラマ・映像・関連展示・模擬御柱
おんばしら館 よいさ
下諏訪町168番地1　Tel.0266-26-0413
営業時間 9:00–17:00　年中無休（臨時休館あり）
●入館料：大人300円／小中学生200円

時計作り体験・黒曜石採掘坑超巨大ジオラマ
しもすわ今昔館 おいでや
営業時間 3～11月 9:00–17:00／12～2月 9:30–16:30
下諏訪町3289　Tel.0266-27-0001
http://konjakukan-oideya.jp
年中無休（臨時休館あり）

時計工房 儀象堂
星ヶ塔ミュージアム 矢の根や

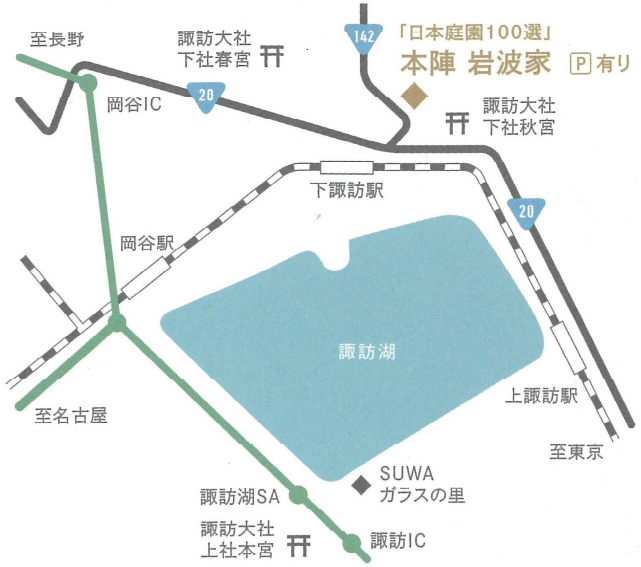
富士山を望む諏訪湖のほとり
公益財団法人 ハーモ美術館
アンリ・ルソー 9点、グランマ・モーゼス7点など、400点余の貴重なコレクションから随時展示しています。
営業時間 9:00–18:00（4月～9月）/ 9:00–17:00（10月～3月）
＊ティールーム・ミュージアムショップは入場無料
下諏訪町10616-540（諏訪湖畔）　Tel.0266-28-3636　ハーモ美術館 検索

●所蔵作家
アンリ・ルソー　グランマ・モーゼス　ポーシャン　ボンボワ
ピカソ　ダリ　シャガール　マティス　ルオー
ミロ　ビュッフェ　荻須高徳　藤田嗣治　他

信州 諏訪の地酒
二葉屋酒店
街かど博物館『懐古物語』

立ち呑み処 一水
諏訪大社下社秋宮そば　遊泉ハウス児湯前
Tel.0266-27-8221　営業時間 9:00–19:00　火曜定休日

〈本陣岩波家へのアクセス〉



●電車でお越しの方／JR中央本線「下諏訪駅」から徒歩10分
●車でお越しの方／長野自動車道「岡谷IC」から15分・中央自動車道「諏訪IC」から25分

お問い合わせ先 ✆0266-28-7055　〒393-0012 長野県諏訪郡下諏訪町横町3492番地イの1

屏風絵のように広がる、悠久の時。

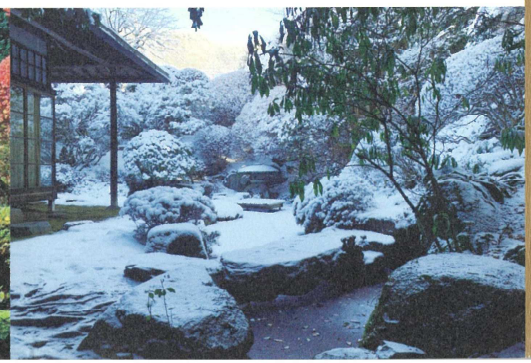
地形を巧みにいかした深山幽谷の景色と、

全国から600個以上の銘石を集め10年かけて作庭された築庭式石庭園。

幾重にも重ねた四季の彩り。

春のツツジ、初夏のアヤメ、秋の紅葉、冬の雪景色。

江戸時代から変わらない植物たちが四季折々の風情を楽しませてくれます。



—— 日本庭園100選 ——

中山道随一の名庭園

私は中山道69次の宿場とその家々を見てきたが、この下諏訪宿の本陣の客室と庭ほど純粋な京風を洗練の極にまで成し得た例はどこにもなく、まさに中山道中の異彩である。これ程に洗練された京風の数寄屋造りは京大工によるものとしか考えられない。他に類をみない大胆な構成美の創造は、並みの工匠の成すところではない。各部屋の比例のよさと細部の洗練さは桂離宮すらおもわせる。この工匠の技には私は惜しみない敬意を表したい。

東京大学名誉教授 文部省文化財審議会専門委員

藤島亥治郎 著書より

歴史の重みを纏い、凛と佇む。

下諏訪宿本陣には江戸時代に参勤交代の公用で通る諸大名、日光例幣使、茶壺道中の行列、皇女和の宮様もご宿泊され、さらに明治天皇の玉座の間として御小休処とされました。数々の歴史の舞台は、当時の面影をそのまま残しています。

中山道・甲州街道の分岐の地に位置する下諏訪。この地で本陣問屋を務めた岩波家が28代続く系譜を引き継ぎ、この屋敷に住みながら文化財を維持管理しております。当時、公家や諸大名が観た同じ景色から江戸時代を感じていただき、歴史と文化の深みをご堪能ください。

下諏訪宿本陣岩波家 総本家　28代目当主
岩波太佐衛門尚宏

第１４６回　街なか研究会
「岡谷の酒「神渡」と下諏訪の路地ツアー」
レポート
令和5 年５月

発行：街なか研究会・全国路地のまち連絡協議会世話人会
〒160-0022　東京都新宿区新宿5－5－3
株式会社アルメック内
Tel.03-3353-3203(代)／Fax.03-3353-2411
machinaka@machi-roji.com